



世界へのプレゼントになろう

国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

例会場 東京第一ホテル鶴岡 (鶴岡市錦町 2-10) 例会日 毎週火曜日 (12:30~13:30)

平成27年 9月15日(火) 第2730回 例会 (本年度第9回)

9月22日(火)	国民の休日
9月29日(火)	ゲストスピーチ 遠藤敏雄氏
10月6日(火)	理事会 情報委員会の日 新入会員スピーチ 大川 淳君
10月13日(火)	ゲストスピーチ 警察学校校長 田澤 義彦氏



Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp ホームページ◎http://www.tsuruokarc.org/

会長あいさつ

会長/越智茂昭

1 第46回鶴岡田川地区小中高校児童生徒考案創作展について

9月2日に樋渡さんと二人で審査をしてきました。小学校だけで352作品、優秀なユニークな作品があり審査に苦労しました。9月5日に表彰式が行われ、朝日小学校2年、佐藤惺空君に鶴岡ロータリークラブ会長賞、賞状と楯を贈呈しました。

2 第67回田川地区中学・高校英語弁論大会について

9月3日、鶴岡ロータリー会長賞、賞状、カップ、ガラス製の楯を次の方に贈呈しました。

・中学(暗唱の部)

鶴岡朝暘第4中学校 富田莉奈さん

・中学(スピーチの部)

余目中学校 渡會 奏さん

・高校 鶴岡南高等学校 中村綾乃さん

9月24日に行われる県大会へはこの3人の他、高校の部で2位の羽黒高等学校 石原賀代子さんの4人が出場します。

3 ローターアクトの日について

9月5~6日に実施されました。県内から12名のアクター、米沢上杉 RC から地区 RAC 委員の松野俊洋君が参加され、5日は米山奨学の王さんが講師になり中国語、6日は木村人形店のご厚意で御殿マリ作成の体験、そして懇親と友情を深められました。当クラブから佐藤久樹君が参加しました。

4 東日本大震災避難者支援等事業補助金について

かねて申請していた補助金について、地区から9月2日付の決定書が届きました。申請通り30

万円です。以後は計画に則り、菅原成規君を中心に進めて頂きたいと思います。

☆文化の力

ドイツにシリア難民が押し寄せていると言うニュースがテレビなどで報道されています。また、シリア難民の小さな子供がトルコの海岸に打ち上げられたと悲しいニュースも流れました。大変悲しい出来事です。

国際社会は、アメリカ、ソ連による冷戦が終結するまでは主に国によって形成されてきました。今は民族そして宗教が中心になり形成しようとする傾向が強くなってきました。

国際社会で活躍しようとするれば、民族、宗教の壁に突き当たるのがしばしばです。民族、宗教は個人の信条、人権に関わることであるためこれを無視したり、否定したりすればその人の存在を否定してしまうことになってしまいます。国際社会で自分の力を発揮しようとするれば相手の民族、宗教を勉強し理解しなければなりません。

社交界、会議の後の懇親会・パーティーですが、ここでの話題は宗教と政治の話はしないのが原則です。そうは言われていますが宗教と政治を除くと、相手が他国のかたでするので話題がなくなります。ここで力を発揮するのが文化です。日本の場合は幸いにも長い歴史があることから茶道、華道、柔道、剣道などそして一番の武器が日本語です。特に敬語・謙譲語です。外国人にはなかなか理解してもらえないですが、少しでもわかってもらえると大変尊敬されます。他人をととても大切に「礼に始まり、礼に終わる」日本の文化の体現だと思えます。

中村さん、石原さん、自分の立ち位置をはっきりして国際社会で活躍してください。

出席報告	会員数	34名
	出席	24名
	出席率	75.00%
	前々回確定出席率	71.88%

■RI 会長 K.R. “ラビ” ラビンドラン ■地区ガバナー 酒井 彰

■会長/越智茂昭 ■副会長/木村 節 ■幹事/武田啓之 ■会長エレクト/加藤 亨

■会報委員会/佐藤詩郎・阿部純次・菅原成規

事務局:山形県鶴岡市錦町2-68 鶴岡SSビル1F TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376

○ガバナー事務所

①2015-16年度東日本大震災避難者支援事業
補助金決定通知書

承認額：300,000円

※企画事業終了後1ヶ月以内に報告書提出

②大江町グローバルアフタースクール

米山奨学生参加についてお願い

英語弁論大会受賞者スピーチ

☆命を救う

鶴岡南高等学校 中村綾乃さん

「ドナーカードを持っていますか」。ドナーカードは広く知られていて、簡単に作ることが出来ます。パソコンや携帯から登録することもでき、とても便利です。

しかし私はドナーカードを持っていません。正直、怖さもあり、システムもよくわからないからです。日本では、臓器移植について、国民に理解されているとは思えません。長い時間待たされ、臓器移植を行う病院は少なく、手術には多額の費用がかかります。子どもの場合はさらに深刻です。術後の拒否反応を抑える薬にも重い負担がかかります。

保育園に入園した6歳の女の子が、翌年重い心臓病を発症、心臓移植しか助かる道ないと診断されました。不幸にしてドナーが見つかる前に彼女は亡くなりました。女の子の両親は彼女の臓器を提供することを決断しました。それがドナーを待ち続けている人たちの命を救い、女の子の命を活かす事だと考えたからです。

私は衝撃を受けました。私たちには何が出来るのだろう。まず始めに、臓器移植でしか助からない患者さんがいることを知ることです。両親の同意があれば、15歳以下の人でも臓器提供が出来るように5年前法改正が行われました。ですから誰でも自分の意志で臓器提供が出来るのです。次に、医学が十分に進歩するまで、必要な患者数だけ、ドナー登録数を増やすことです。提供者を増やすには、臓器移植の重要性を理解し、自ら情報を得て、モチベーションを高めることです。

私は将来、医学の勉強をし、人々を救う仕事をしたいと思っています。それと同時にどんなに医学が進歩しても、人間の尊厳は尊重されるべきだと思います。

ドナーカードに賛成ですか。さあ、社会をよりよくするために臓器提供の意志を表明しましょう。

☆感謝という日本の精神

羽黒高等学校 石原賀代子さん

世界には、その国の言葉の挨拶があります。普段

何気なく使っている挨拶にも深い意味があるということを知っていますか。

日本の食事の挨拶には、「いただきます」と「ごちそうさま」という2つの言葉があります。私は子供のころ、神主である父から「いただきます」の意味を聞きました。日本では昔から人間も自然も動物も植物も、命がつながりあって皆生きていると考えられています。人間が生きてためには、多くの生き物の命をいただかないといけません。「いただきます」とは、多くの生き物の命をいただきますということです。偉大な自然への感謝の気持ちを表している深い意味があるのです。また「ごちそうさま」とは、「ご」「ちそう」「さま」に分けられます。「ちそう（馳走）」とは、「走る」という意味です。昔は、客人を迎えるために走り回って獲物をとってきてもてなしました。そんな命がけの働きに、客人が「ありがとう」と心からの感謝の気持ちを表したものです。「ご」と「さま」は、日本語のとても丁寧な言い方です。このようにとても深い意味があります。

日本人の中でも挨拶をしないで食事をする人が多くいます。私は「いただきます」の意味を理解していないのではないかと思います。今の日本は、食べ物が豊かで、毎日食事ができることが当たり前のことのように感じられます。豊かで便利な飽食の時代の中で、食べ物を大切に思う心を忘れてはならないと強く感じました。

和食が昨年 UNESCO 無形文化遺産に登録されました。「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶は、自然を尊ぶ日本人の精神性を表した伝統的な食文化の1つです。私たち日本人が毎回「いただきます」「ごちそうさま」言って、食べ物に感謝することが大切だと思います。

委員会報告

出席委員会

◆ゲスト

鶴岡南高等学校 池田雅明先生 中村綾乃さん
羽黒高校 マクレーン・ジョセフ先生
粕谷ゆみ子先生 石原賀代子さん

◆メイクされた方

阿蘇司朗君・藤川享胤君・木村節君・西川富美子君



加藤 亨君 次男が進学の関係でやっと運転免許が取れそうです。

越智茂昭君 中村さん、石原さん県大会ガンバって下さい。

菅原成規君 娘が夏休みのサマーチャレンジで、学校代表で科学展に出品されました。賞は取れませんでしたでしたが根気よく頑張ったと思います。

